

議員氏名：野地 洋正

議案番号：議案第69号

案件名：令和6年度二宮町一般会計補正予算（第6号）

討論内容：

私は、議案第69号「令和6年度補正予算（第6号）」に「賛成」の立場で討論します。

先の一般質問で詳細が示された通り、現役場庁舎は、今にでも起こるであろうと言われていた巨大地震が発生した場合、建物が倒壊または崩壊の恐れありと指摘されており、さらに、災害対策本部そのものも十分機能する状況にはなく、たとえ消防庁舎大規模改修が終了しても、それは代わるものとは成りえず、加えて、職員がどれだけ汗水を流しても町民サービスが向上しないなど、資源（人・物・金）の一つである「もの」が、すべてにおいて不足しており、最悪な状況と言わざるを得ない、ということは皆さまも周知のことと思います。

議会は、当初の計画場所であった、法務局隣接地、第一駐車場への建設は不適切ではないか、も理由の一つとして、令和元年度、予算を承認せず計画の変更を求めました。

その後6年間、予定地周辺の水害の恐れも含め、議論を続けてきたわけですが、町も議会も、ほかにきちんとした検証できる適当な候補地を見つけることはできず、現在の「ラディアン周辺行政機能等集約計画」に至っています。

あらゆる災害から町民の生命と財産を守ることは行政の一丁目一番地です。そのためにも、耐震性があり、電源が確保され、個々の情報収集、全体の災害状況把握、迅速な指示命令・・・ができる拠点、すなわち先進的災害対策本部を有する役場新庁舎が不可欠であり、一刻の猶予もないはずで

加えて、良好な職場環境は、さらなる町民サービス向上へとつながるもの、と期待もできるのではないのでしょうか。

以上の理由により、役場新庁舎整備は早期に進めるべきであり、町民の生命と財産をまずは守り、そして安心を与えること、を切に望みます。

当然ではありますが、並行して、町が出来うる限りの雨水対策、県への治水対策要望強化、を同時に進行していくこと、と申し添え、賛成の討論といたします。

以上